令和6年度第2回 さいたま市文化財保存活用地域計画策定協議会 議事録

1 日 時 令和6年8月22日(木) 午後2時から午後4時まで

2 場 所 西会議棟 第5会議室

3 出席者

【委員】

所 属 等	分 野	氏 名
浦和郷土文化会会長	郷土史	青木 義脩
宗教法人慈恩寺代表役員	文化財所有者	大嶋 法道
公益社団法人さいたま観光国際協会事務局長	観光	金子 政浩
市民公募	公募委員	木本 和男
芝浦工業大学教授	まちづくり	作山 康
市民公募	公募委員	花井 紀子
芝浦工業大学名誉教授	建造物	渡辺 洋子

【オブザーバー】

所 属 名	職 名	氏 名
埼玉県教育局市町村支援部文化資源課	主事	町田 歩未

【事務局】

所 属 名	職 名	氏 名
生涯学習部 文化財保護課	課長	小林 昌彦
生涯学習部 文化財保護課	課長補佐	澤柳 秀美
生涯学習部 文化財保護課 文化財保護係	課長補佐兼係長	磨田 顕寛
生涯学習部 文化財保護課 文化財保護係	主査	村井 貴博
生涯学習部 文化財保護課 文化財保護係	主事	渡辺 竜行
生涯学習部 文化財保護課 文化財保護係	主事	松浦 成美

【御欠席委員】

宗教法人氷川神社権宮司	文化財所有者	東角井 真臣
大東文化大学教授	歴史	宮瀧 交二
さいたま商工会議所理事	商工	吉沢 浩之

5 議 題

報告事項

- (1) さいたま市文化財保存活用地域計画素案について
- (2) パブリックコメント結果について
- (3) その他報告事項

6 公開・非公開の別 公開

7 傍聴人の数 0人

8 協議内容 下記のとおり

記

報告事項

- ・さいたま市文化財保存活用地域計画素案について説明
- ・事務局に対し以下のような意見等があった

(作山委員)

計画認定の市へのメリットはどうあるのか。助成等あるのか。

(事務局)

特別交付税交付金の多少の上乗せが可能になる。また、デジタル田園都市国家構想交付金の枠が増えるというメリットがある。

(作山委員)

本計画はさいたま市としてどの程度、重要視されているのか。

(事務局)

本計画は、市民に文化財の状況を知ってもらい、共に文化財を守り、活用していこうとい

うメッセージであると考えている。

(渡辺委員)

さいたま市は、文化財の修復予算が十分でないのが現状。本計画が認定されることで、建造物等の高額修理予算の計上につながっていくものと思ってもらってよい。

報告事項

- ・パブリックコメント結果について説明
- ・その他報告事項

(事務局)

8月30日までに計画の素案を仕上げ、文化庁に仮申請することになっている。基本的にこれで提出するが、微調整しているところである。万が一、誤字脱字、明らかな事実誤認があったら、8月29日までに事務局に連絡してほしい。

以上